

武石委員長

ただいまから、議会運営委員会を開く。  
本日は、議長から御報告があるので、急遽お集まりいただいた。  
それでは、議長、御報告願う。

1. 議長からの報告事項について

三石議長

それでは、報告をさせていただきます。  
本日の本会議で、県民の会及び日本共産党から提出があった「「安全保障法制関連二法案」の撤回を求める意見書議案」の採決のとき、高橋議員が退席される事態があった。  
先例では、意見書議案を会派から発議する場合は、所属議員全員が発議者となることが例とされている。したがって、今回も先例に従い、両会派合わせて12名による提出者としての署名があり、意見書議案が提出されている。  
しかしながら、先ほど申し上げたとおり、この議案の採決の際、高橋議員が退席されたので、閉会后すぐに、県民の会の中内会長に、このことについて確認をした。その中で中内会長からは、このたびの件についてのおおびと、今後こうしたことがないように会派として注意していくとお話があった。  
以上、報告をさせていただきます。

武石委員長

ありがとうございました。  
それでは、御意見があれば、どうぞ願います。

土森委員

意見書議案に対して賛同する会派、議員が、署名をした。その議員が、その議案に対して参加していない。こういうことは、議会としてはあってはならないことだ。  
したがって、我々は、議会としてこういうことがないように、しっかり認識していないと、他の議会と比べて高知県議会はこんなことをやっているんだということになる。こういうことではいけない。そのへんをきれいに整理していただきたい。  
それと、中根議員だが、提出者が、提出議案に対して、賛成をせずに反対をしたという、今まで我々が経験したことがないようなことであるから、このへんについても、どういう意思があったのかお二方に確認していただいて、それから議運で整理していくということにしなければならない。

米田委員

中根議員の場合は、基本的には内部の問題である。しかし、原因は、極めて単純な勘違い。2本出ている、中根議員が後先を勘違いして、2本目の意見書議案と一瞬思っ、あえて座っていた。だから、自分の勘違いですということで、後で中根議員から報告があった。

高橋副委員長

副委員長でありながら、大変申しわけなかった。  
中内会長からも、厳しくお叱りを受けた。  
以後については、このようなことがないように十分留意してまいりますので、どうぞお許しをいただきたい。

土森委員

高橋議員は議運の副委員長でもあるし、議事運営をしっかり方向づけていかなければならぬ立場でもあるわけだから。  
これは、自分で署名をしたわけか。

高橋副委員長

そうである。

土森委員

非常に残念なことである。  
会派の会長が本人に厳しく注意をしたという報告でもあるので、高知県議会として、こういうことがないよう厳しく全員で注意をして、今後こういうことがないようにはしていただきたい。

武石委員長

ほかにないか。

(な し)

武石委員長

それでは、議会のルールをしっかりと守るということ、それから、採決については、議会だよりとかホームページには、賛否は名前入りで公表されているので、極めて慎重に、適切な対応をしていただくように各会派に要請をさせていただいて、本日の議運をこれで閉じる。